

こんにちは

下諏訪町議会

です

41号

9月定例会

令和5年10月27日発行



下諏訪町議会
HPはこちら



令和4年度決算認定！

しもすわ議員全員お話し会アンケート結果

一般会計決算認定される

一般会計予算決算審査特別委員会で審査

コロナ対策事業 3億2,142万円



小中学校電子黒板導入
電子黒板57台を購入
事業費 2,581万円

一般会計決算の審査結果

反対討論

「旧矢崎商店購入」の予算案に反対した。いまだ活用方法が定まらない。もっと町民応援に廻すべきだった。コロナ対策は、国や県の交付金など活用した事業で、一般会計からは1,193万円しか支出していない。

賛成討論

議会は予算案を可決し、購入は決定している。予算執行は当然で、議会制民主主義の基本。全体的にもコロナ対策など町民益にかなった決算である。

採決

賛成多数で認定。



プレミアム付き商品券発行
地域経済活性化を図る
事業費 9,760万円



地域経済対策支援
ヨルクレバ、産業まつり開催等
事業費 1,925万円

- ・観光消費拡大キャンペーン
(下諏訪宿泊割 2,525万円)
- ・防災アプリ導入
(アプリ導入 674万円)
- ・コロナワクチン接種
(ワクチン接種経費 7,396万円)
- ・学校保健特別対策
(感染症対策物品購入 572万円)

物価高騰対策事業 2億2,846万円

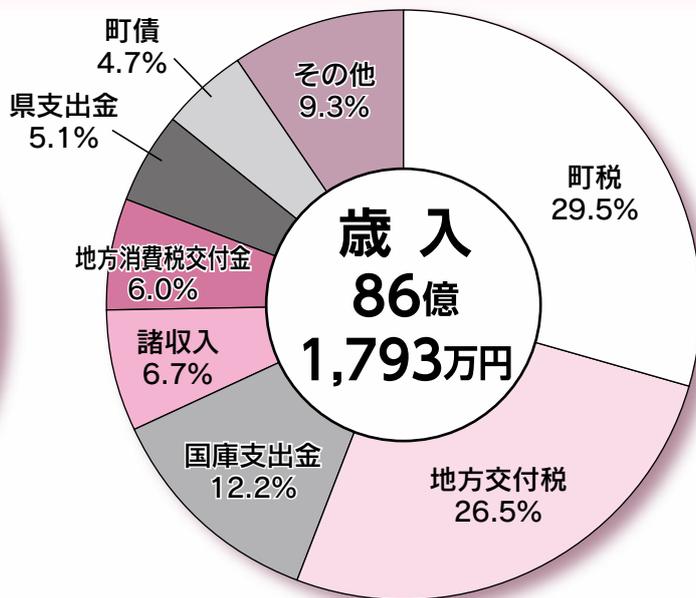
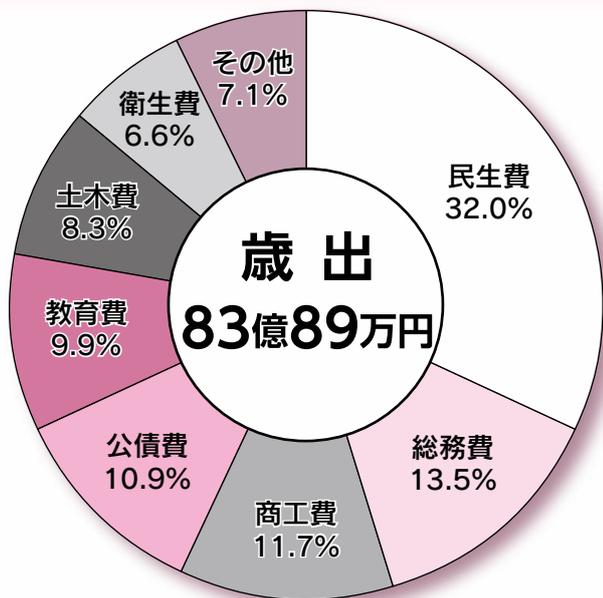


学生激励事業
町外の学生に町の特産品を送付
事業費 196万円

- ・生活応援プレミアム付き商品券
(非課税世帯などへ商品券を給付 4,938万円)
- ・学校給食費緊急対策
(学校給食会へ補助 560万円)
- ・価格高騰緊急支援給付
(低所得世帯に対し1世帯5万給付 9,839万円)
- ・子育て世帯生活支援特別給付
(低所得子育て世帯に児童一人5万円給付 897万円)

令和4年度

一般会計



その他の主要事業



社中学校照明設備改修
照明をLED化
事業費 4,172万円



移住交流総合拠点整備
旧矢崎商店用地購入等
事業費 2,427万円



町道大久保山道線等改良
大久保山道線等の側溝を改修
事業費 2,092万円



ナックルフォア艇購入
ナックルフォア艇7艇購入
事業費 946万円

水道事業 経費削減は限界に



東俣浄水場

総務経済常任委員会

法定耐用年数40年を経過した管路の約半分が老朽化している状況。管路更新率はR4年度0・5%であり更新が進まない状況にあるが、町の上下水道事業経営戦略に取り組み中で、収支のバランス等を考え進める。1mあたりの給水原価106円93銭、供給単価101円34銭で、料金回収率は94・8%のため、料金収入で必要経費が賄えていない。物価高騰などもあり経費削減は限界に達しており、料金改定等も視野に、根本的に解決する必要がある。未収金に対する対応は、徴収訪問や事情に応じて分納での納入をお願いしている。接触や連絡のない方、相談にも応じない方については、給水停止をさせていただき、昨年度は15人の方に行った。

町民に寄り添った経営で、安くておいしい水の供給をお願いするとの賛成討論がありました。

空家対策特別措置法を改正

「空家等対策の推進に関する特別措置法」が改正され、町の条例との間に条項ずれが生じることから、本条例の一部を改正するもの。また、措置法が根拠となり、町は特定空家となる恐れがある空家に対して固定資産税の住宅用地特例の解除や、空家管理に取り組むNPO法人の指定ができるが、空家等対策の実施においては建設水道課、税務課、産業振興課などが協力して行う。横断的な連携で適正な運営と施行をお願いするとの賛成討論。

温泉事業 加入者減少傾向

温泉に加入され給湯済みの件数は、R4年度末で1438件、R3年度末は1453件で、15件減少。内訳は新規加入が4件、温泉をやめられた方が19件。営業活動ではチラシを作成し周知を図り4件の新規加入へ繋がった。収支状況について、歳入では使用料及び起債が減収となり、歳出では工事費及び修繕料の増加、電気料の高騰などで支出が膨らんだ。財政調整基金として500万円積み立てるなど、今後を見据えた事業推進に努める。加入金を安くするなど加入しやすい状況をつくり、さらにチラシを工夫するなど加入促進に向けて努力もされている。との賛成討論がありました。

下水道事業 老朽化対策急務

管路老朽化対策として詳細力メラ調査の実施後に修繕計画を立てていく予定。一般会計からの繰入金金の推移では、今後の見込みとして独立採算の

観点から繰入基準の範囲内で対応していく。経営の健全度、今後の設備計画についても妥当と判断し、賛成との討論がありました。

駐車場事業 大型バス無料化

大型バスについてはR4年4月から無料化。四ツ角駐車場は観光拠点のスタートとなる。収益的には厳しいものがあるが、当面の運営は駐車場を利用していただくことで、近隣に経済効果が波及することを重視する。

「経済効果への寄与」という役割と運営のバランスを考慮し、コロナから回復しつつある現状、今後に期待して賛成との討論がありました。



四ツ角駐車場

補正予算(第5号)は歳入歳出それぞれ898万4千円を補正するもので、商店街の環境整備、防犯灯設置、寄附金の積立てや補聴器購入補助金の増額などでした。



「コンビニ」利用拡大ポスター

生活文教常任委員会

スマートフォンで 印鑑証明書 取得可能に

個人番号カードを保有する者からの申請に基づき、移動端末設備に電子証明書の搭載が可能となることから、これを使用し、店舗の端末機を自ら操作して印鑑証明書を取得できるようにするための一部改正です。

賛成討論 これからの時代、デジタル化が必要であり、利便性向上は間違いない。マイナンバーカードにおける問題点とは別次元の問題であり、条例改正が必要。

反対討論 マイナンバーカードを巡り、全国で様々なトラブルが発生しており、国民の不安は払拭されていない。政府による十分な説明責任が果たされておらず、利用範囲拡大には一旦ストップをかける必要がある。
採決の結果、賛成多数で可決。

支援員資格を緩和

放課後児童支援員の資格要件について、業務に従事することとなった日から2年以内に都道府県知事等が実施する認定資格研修を修了することを予定している者も含むとするもの。

改正により、学童保育の質の向上、指導員のニーズが増えることによる指導員の確保にも結びつく実情に合った法改正との賛成討論がありました。

国保特別会計 危機的決算に

R4年度は前年度からの繰越金と基金からの繰入金により赤字にならずに済んだが、単年度収支では2370万円余りの赤字であった。保険基盤安定繰入金について、軽減を受けている被保険者数は、1503世帯、2195人で、前年度より若干の増。下諏訪町の国保税の調定額の県内の順位は31位で、これに対して1人あたりの医療費は県内12位であった。

大変厳しい状況に置かれている被保険者のことを常に念頭に置き、税率改定の議論を進めていきたいとの賛成討論がありました。

交通災害共済 加入者激減

収入済額前年度比26・5%の減は、人口減、物価の高騰などさまざまな要因が考えられる。新聞広告や広報、ホームページなど、加入促進に努めているが、アピールチラシ等、方法を考えて、積極的に加入促進に努めたい。

収入が下がってしまったのは残念だが、リーズナブルで安心できる保険であり、今後加入者数を増やすことに期待するとの討論がありました。

特別養護老人ホーム(天白)健全運営



ハイム天白

民間の介護施設に比べ、サービス費はほぼ一律だが、食費などは国の基準の最低限でやっている。入所者の自己負担が払えず未収金となっている事例は起きていない。待機者の数について、本年9月7日現在、111人が待機中で、年々増加傾向にある。
賛成討論 光熱費が上昇する中、経費削減に努めており、努力に感謝したい。公営の施設として役割を確実に果たしていると考えられる。物価高騰、コロナ感染も収束しない中、職員の努力で経費削減、老朽化する施設への対応に努力された。他の同様の施設に比べ安い利用者負担で入所できる天白は、セーフティネットとしての役割を求められ、ニーズは町内外からも高い。これからも慢性的な人手不足で現場の職員は大変な苦勞が続くかと思うが、質の高い介護サービスの提供に期待するとの討論がありました。

一目でわかる議決結果

9月定例会

議案名(一部省略)	
承認	【専決処分】令和5年度一般会計補正予算(第4号)
可決	印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正
可決	福祉医療費給付金条例の一部改正
可決	保育所条例等の一部改正
可決	空家等対策協議会条例の一部改正
可決	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
可決	令和5年度一般会計補正予算(第5号)
可決	令和5年度特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第2号)
可決	令和5年度一般会計補正予算(第6号)
可決	令和5年度特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第3号)
認定	令和4年度一般会計歳入歳出決算
認定	令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算
認定	令和4年度駐車場事業特別会計歳入歳出決算
認定	令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
認定	令和4年度交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算
認定	令和4年度温泉事業特別会計歳入歳出決算
認定	令和4年度特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算
認定	令和4年度東山田財産区会計歳入歳出決算
認定	令和4年度水道事業会計剰余金の処分及び決算
認定	令和4年度下水道事業会計剰余金の処分及び決算
陳情名	
不採択	「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情
不採択	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情
意見書案名	
否決	健康保険証の存続を求める意見書

議決結果

賛否一覧

9月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

議員名(議席順)	議決等結果	樽川 信仁	高橋 幸二	林 吉広	花岡 進	竹元 完奈	大橋 和子	金井 敬子	豊島 健之	野沢 弘子	松井 節夫	中山 透	青木 利子	林 元夫
議案名等(省略)														
印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正	可決	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○
令和4年度一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○
「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×
健康保険証の存続を求める意見書	否決	×※	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×

賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

※可否同数のため、議長の裁決権行使により議決しました。

陳情・意見書案の審査結果

陳情第9号

長野県保険医協会・諏訪地方社会保障推進協議会 提出

「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情

陳情趣旨 政府は、2024年秋に現行の保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を可決した。マイナ保険証に関するトラブルが続出している。保険資格が確認できないケースや高齢者・障がい者などに十分な対応ができないことも予想されるため、健康保険証の存続を国及び政府に求めるもの。

賛成討論 トラブルに対して国民の不安が7割を超えており、来年秋の保険証廃止は、延期又は中止というのが圧倒的な世論。本当に重要な国民の命を扱う情報なので、しっかりと慎重に時間をかけて、国民の合意を経て進めるべきであり、1年足らずで廃止というのはどう見ても無謀と考えるので、賛成。

反対討論 保険証に限らず、印鑑証明や住民票など、マイナンバーカードに一本化していくというのは必要なことと考える。来年秋というのは早すぎるが、陳情そのものにはトータル的に見て、マイナンバーカードそのものに反対と見てとれるので反対。

採決 賛成少数で不採択となりました。

陳情第10号

小平博也 提出

政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情

陳情趣旨 近年、全国の市町村で、政党機関紙の勧誘(営業)・配達・集金が無許可で行われていることが問題となっており、その是正のために、地方議会20か所以上で、庁舎内における勧誘・配達・集金の自粛を求める陳情が採択された。議員による職員に対するパワハラなどは許せない。①庁舎内での無許可の政党機関紙の勧誘・配達・集金の禁止②政党機関紙の購読は個人の自由であり、制限されるべきものでないのに、自宅に配達するなど指導してほしい③心理的な圧力を感じたかなど職員に寄り添った調査確認を求めるもの。

反対討論 陳情項目の事実関係について十分に確認されていないと思われること。また、陳情者自らが町に対して、こうした陳情、要望を述べたという事実関係も確認できていないこと。特定の思想主義、そういった行為に対する攻撃のようにも読み取れるような文面の陳情を、この議会でも取り上げること自体が、審議に馴染まない、そぐわないので反対。

採決 全会一致で不採択となりました。

意見書案

花岡進議員 提出

健康保険証の存続を求める意見書

趣旨 政府はR6年秋に「マイナ保険証」に一本化し、現行の保険証を廃止しようとしている。マイナ保険証に別人の情報、紐付けされるなどトラブルが全国で続出している。安心して医療が受けられるよう、現在の保険証を存続することを求めるもの。

賛成討論 マイナンバーカードを否定する内容ではなく、現行の保険証を廃止することのトラブルは計り知れない。国民皆保険制度の根底を揺るがしかねない。

反対討論 デジタル化によるメリットは、レセプト関連業務の効率化など将来を見据えると大きい。政府は、説明責任を果たすことを期待。
採決 賛成反対同数となり、議長裁決により、否決となりました。



マイナ保険証認証機器

下諏訪町の不登校生徒の現状は

コロナ禍を経ての
変化はない

教育長



たけもと かな 完奈



別室登校、学校行事への参加、中間教室、家庭でリモート学習など、個々

問 学校に行かないことを選択した不登校、及び不登校傾向の小中生徒人数は。
教育長 今年度1学期末の集計では、小学校では、平均学年に0〜1名、中学校では平均1〜2名。
問 子供と保護者への支援状況は。
教育長 登校を目指す生徒には、時間を決めた登校、別室登校、学校行事への参加、中間教室、家庭でリモート学習など、個々

問 学校の二丁目に合わせて対応。
夏休み子供の食の安全
問 夏休み中の子供達の食の安全を町はどう図るか。
教育こども課長 長期休みの食事支援は、子ども食堂団体にこども未来基金活用事業で補助金支援。
問 長期休みでの学童での給食提供を検討していただけないか。
教育こども課長 いくつかの課題はあるが、実際に実施している自治体もある。

ホシスメバの現状は
問 しごと創生拠点施設ホシスメバの開始から、今までの現状は。
産業振興課長 H30年11月から入居開始。今までに16人が入居。現状は課題が顕在化し、一旦入居者募集を休止し、より効果的な利用方法を検討中。
問 事業開始から、今までの運営費用総額は。
産業振興課長 費用は、総



ホシスメバ未来図

額約7451万円、国の交付金や入居者居室使用料など歳入は約4986万円、町の実質的な一般財源からの負担合計は2465万円。

私たちは問いかけ提案する 一般質問



▶ 下諏訪町議会 議会中継

各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。スマートフォン等からアクセスしてご覧ください。

9月定例会の一般質問は
11人が行いました。

- 8 p 下諏訪町の不登校生徒の現状は
竹元 完奈
- 9 p ふるさと納税の活性化を
林 元夫
4月開始の補聴器購入補助制度、実績は
金井 敬子
- 10 p 水難事故が多いが、学校の水泳教育は
松井 節夫
行政サービスのDX推進は
青木 利子
- 11 p 災害避難時の歩行困難者への支援施策は
豊島 健之
町内各自治会・団体存続のための支援を
林 吉広
- 12 p 保険証廃止を延期すべきとする理由は
花岡 進
9月1日は防災の日 町庁舎の防災対策は
野沢 弘子
- 13 p 生涯学習を推進するための環境づくりは
大橋 和子
再犯防止推進計画をどう策定するか
中山 透

4月開始の補聴器購入補助制度、実績は



17件、45万円を超える補助

保健福祉課長

ふるさと納税の活性化を



魅力ある返礼品など検討

町長



各種制度は本人や家族の「申請」が原則だ

問 補聴器購入に対する補助実績のほとんどが上限額3万円。1台平均15万円と、補聴器は高額。補助金額の引き上げや周辺機器購入、メンテナンス費用へも補助拡充を望むが。
町長 今後更に高齢者人口が増えれば、需要の高まりが想定される。今年度開始したばかりなので、すぐには拡充とはいかない。



ちづくりを進め、アピールすることも必要。

問 ふるさと納税の寄附額は、全国的には増加傾向にあって、下諏訪町は減少。町の特色を生かした御柱グッズ、文化的作品や旅行商品などをジャンル別に展示するなどの工夫や商品開発をすることが必要。ふるさと納税を産業振興事業と捉えて活性化すべきだが。
総務課長 返礼品開発も必要だが、応援してもらったま

「評価」は。

問 「第2期下諏訪町子ども・子育て支援事業計画」に沿った実践と、客観的「評価」は。
計画に子どもの意見
問 「第2期下諏訪町子ども・子育て支援事業計画」に沿った実践と、客観的「評価」は。

段階的な一元化を検討。①高

町長 魅力ある返礼品の開発をしつかりと進める中で、町に納税してもらえような対策も考えたい。
問 企業版ふるさと納税の今後の対策は。
総務課長 町長によるトップセールス、マッチング会への参加などを検討する。
観光組織を一元化
問 観光行政の方向性は。
町長 観光振興局観光推進部を核とした観光組織の段階的な一元化を検討。①高



教育子ども課長 保育無償化と町独自の保育料軽減策、就学援助、奨学金貸与、子ども未来基金貸付など実践してきた。年度内に「子ども

付加価値な旅行提案②訪日外国人旅行者を含む来訪者受け入れ環境の整備③広域での戦略的な情報発信をするための観光振興計画を策定したい。持続可能な観光地づくりを推進する。
問 広域型DMO（観光地域づくり法人）を推進する考えは。
町長 広域連携のDMOは行政や民間事業者との合意形成、事務局等の組織強化も必要でまだ時間がかかる。
問 博物館改修工事は来年



改修計画をローリング中の諏訪湖博物館

も・子育て会議」を開催し、評価をいただく。
問 次期計画策定に先立つ、ニーズ調査は。子どもたちの意見も把握すべきでは。
教育子ども課長 就学前児童と小学生の保護者をターゲットに、12月頃調査予定。どの年代の子どもの意見を求めるか、聞き取り方法など検討する必要がある。
問 子どもの貧困対策に、国の「地域子供の未来応援交付金」の活用を。
教育子ども課長 研究する。

度からとなっているが。
産業振興課長 文化センター改修工事があり、ローリング（見直し・修正）をかけている。

行政サービスのDX推進は

キャッシュレス決済も
拡大

総務課長



あおき としこ
青木 利子



総務課長 本年度から、交通災害共済加入時の会費をクレジット決済できるようにした。窓口の発行

水難事故が多いが、 学校の水泳教育は

小学9時間
中学9~11時間

教育長



まつい せつお
松井 節夫



問 着衣水泳も必要では。教育長 衛生面もあるが、体験は必要と考える。
問 夏休みのプール使用は。教育長 コロナ禍以来中止。登下校時の熱中症も心配。監視員確保も難しい。
問 子どもの水泳期待感は。教育長 多くは期待しているが抵抗を感じる子もいる。
問 保護者や先生が監視できないなら、監視員にライブカメラやフセーバー養成や雇用はできないか。

安全な環境づくり

教育長 雇用の考えはない。教師は救急救命やAED講習を受けている。
問 花見新道の桜古木の状況と管理は。建設水道課長 2区の要請で県により枝払い、伐採をした。R6年度も行う。若木の植樹を県に要請する。
問 落葉の管理は。住民環境課長 ごみ袋支給など対応する。
問 6区樋橋の公園に危険



樋橋の公園に覆い被さる大木

な木がある。公園や街路樹の安全対策は。建設水道課長 24か所の公園や街路樹は職員やシルバークラスの目視、住民からの知らせにより対処している。

教育子ども課長 樋橋の公園は所有者に話をしている。
問 住宅や、道路隣接の危険な木の把握は。産業振興課長 町民からの情報提供、道路パトロールで情報収集している。
問 松枯れ木の対策は。産業振興課長 誘引器設置や定期的監視を強化する。
問 春宮前の「ガラクタ市」が高く積まれて危険。建設水道課長 地主に対応してもらう。
町長 話し合いは続けたい。

問 ログミーツGPTの活用は。総務課長 AI(人工知能)による会議録要約、要点の箇条書き整理機能を試行して一定の成果が認められ、町の情報セキュリティポリシーを順守した上で活用。
問 公共料金等のオンライン決済は。総務課長 本年度から、交通災害共済加入時の会費をクレジット決済できるようにした。窓口の発行

手数料や施設使用料などがか所でキャッシュレス決済端末機を設置する。



総合窓口で端末機導入へ

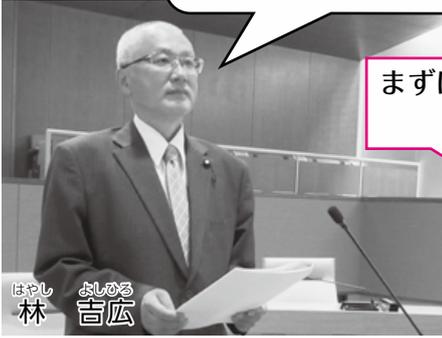
介護認定のデジタル化

問 介護認定業務労力をどう考えるか。保健福祉課長 国で定められた74項目と主治医の意見書で一次判定し、審査会で二次判定するため必要。
問 業務システム開発プラットフォームの導入は。保健福祉課長 諏訪広域6市町村で同じシステムを使用。町だけではできない。R7年度に国で情報自治システムの標準化を予定。

実践教育の現状

問 生涯に渡って役立つ家庭科の指導とは。教育長 小学生は針の手縫い。中学生はトートバッグ作り。昔にはなかったが、消費者教育で小学生は「上手なお金の使い方」中学生は「クレジットカード、消費者トラブル等詐欺について」の学習がある。私事だが「家族にタコちゃんウィナーを作り喜んでもらった」ことが生涯忘れられない料理になった。

町内各自治会・団体
存続のための支援を



まずは各団体から
相談を



町長



区・町内会は自治組織であり基本的には町が積極的に関与するべきではない。相談があった時には助言などをして

問 少子高齢化や人口減少により各区が直面している自治会運営の存続を図る上での課題や取り組みについて町の方針は。
総務課長 毎月開催されている区長会にて状況は把握して、重大な課題であることは認識している。

災害避難時の歩行困難者への
支援施策は



自主防災活動補助金を
活用



総務課長



問 歩行困難者の避難行動を支援する施策は、どのようなものがあるか。
総務課長 災害犠牲者の多くは、高齢者・障がい者等の避難困難者である。町は、避難困難者個々の状況に応じた個別避難計画を作成し、訓練の実施、計画の検証を行っている。避難用具に関しては、けん引式の車椅子補助装置を各区に1基配備し、購入に際しては購入額の3分の2を補助する。

問 進学に対する助成・支援制度や奨学金制度の現状と課題は。
教育こども課長 貸付奨学金を用意している。卒業後2年以内に町内に居住し、

問 危険箇所を迅速に発見する為の構想や施策は。
総務課長 道路や側溝の損傷、河川の異常等の位置情報や画像データを、スマートフォンで通報できるシステムを、年内稼働を目途に進めている。

問 増加する投資的経費をどうするか。料金適正化の他に何か対策があるか。
建設水道課長 経費削減や

問 安全な水の維持管理は
問 地域に貢献するボランティアの無償活動について町はどう評価しフォローするか。
町長 ボランティアの方々の活動は、全てに有り難い

問 奨学金制度を通じて子供たちと町との強いつながりができると考える。更なる奨学金制度の拡充の考えは。
町長 奨学金基金を原資に運用している現状で将来にわたって維持していかなくてはならない。現時点で拡充は難しい。

問 奨学金制度の現状と課題は。
町長 各団体の現状に即した組織のあり方を検討いただき、担当課と相談を進めている。

問 地域に貢献するボランティアの無償活動について町はどう評価しフォローするか。
町長 ボランティアの方々の活動は、全てに有り難い

事業効率化等といった経営努力も限界にきている。水道事業に必要な財源は、水道料金でまかなうのが原則であり、安定供給には約20%の料金値上げが必要不可欠である。



下諏訪町の未来へ向けてがんばれ！



ボランティアの方が整備をやめたグラウンドは…

と思っている。町もボランティア袋の提供や、感謝状の贈呈、広報でのお知らせ等、活動の支援に努めていきたいと思う。

9月1日は防災の日
町庁舎の防災対策は

自衛消防隊を
組織している

総務課長



保険証廃止を
延期すべきとする理由は

信頼回復には
時間が必要

町長



建設水道課長
橋の構造上ガー
ドレール設置は

問 自衛消防隊への思いは。
副町長 人命の安全確保な
ど、訓練で指示徹底。
鰻沢の溢水による冠水
問 鰻沢の溢水対策は。
建設水道課長 堆積した土
砂を撤去する浚渫工事を南
小付近の200mと河口付
近の60mで行った。
問 鰻沢の橋に転落防止の
ガードレール設置を要望。



住民環境課長
報告はない。
問 当町におけ
るマイナンバー
カードの自主返

問 マイナ保険証をめぐる
トラブルの解決には現在の
保険証を残すことが一番と
考えるがいかがか。
町長 マイナ保険証への期
待もありメリットも多い。
国による総点検や信頼回復
策を注視しながら、窓口で
の丁寧な説明に心がける。
問 当町においてトラブル
は発生しているか。
住民環境課長 報告はない。

大雨災害の復旧工事
大久保沢・小久保沢の

鰻沢に架かる橋



難しいが、橋と川の境の目
印となるラバーポールの設
置で対応したい。

納の状況、町民からの不安
の声は。
住民環境課長 不信心を持
たれて返納された方は一人。
相談は数件あった。
介護保険制度の改善は
問 第9期介護保険事業計
画の策定に際して保険料の
引き下げを求める考えは。
保健福祉課長 保険料は諏
訪広域連合の介護保険委員
会で審議される。
問 地域の実情に見合った
計画策定が必要。町として

液体ミルクを備蓄品に
問 災害時に乳幼児用の、
簡便な液体ミルクは備蓄品
として重要と考えるが。
総務課長 液体ミルク等は
消費期限が1年半程で短い。
研究をしていく。
問 心停止時の救命装置の
AEDに、意識のない状態

盛り込みたい事業は。
町長 訪問看護が2事業所
増え充足。不足するサービ
スの声は町に届いていない。
特養ハイム天白の運営
問 職員の配置数は。過重
負担はないか。
保健福祉課長 全ての職種
で国基準かそれを上回る人
員を配置。過重負担はない。
問 虐待等の対応困難ケー
ス、医療処置が必要な人の
受け入れ基準は。
保健福祉課長 嘱託医の判

の女性の胸を覆う三角巾を
装備出来ないか。
総務課長 AEDのパック
の容量にも限りがあり、備
えられるか検討をする。
各種のワクチン接種
問 子宮頸がんワクチン接
種のR4年度の実績は。
保健福祉課長 定期接種は
1人3回で31・6%。
問 带状疱疹予防ワクチン
接種への補助は。
町長 国で定期接種化を検
討中。

断による。認知症の方は他
利用者の安全を考慮し判断。
問 要介護1・2の特例受
け入れの状況、判断基準は。
保健福祉課長 この4年間
で9人受け入れた。判断基
準はなく、個々の状況で判
断している。



**再犯防止推進計画を
どう策定するか**



なかやま とおる
中山 透

町ならではの
計画を策定



町長

**生涯学習を推進するための
環境づくりは**



おおはし かずこ
大橋 和子

多種多様な講座を
提供する



教育こども課長



「地方再犯
防止推進計画」
についてどう理

消防課長 初犯件数は減少傾向、再犯件数は増加傾向。

問 犯罪件数のうち、再犯数はどのようになっているのか。

消防課長 前年対比でR2年3月は減少傾向。R4年度は増加傾向。

問 犯罪の状況は。

消防課長 R2年87件、R3年57件、R4年62件。

問 当時の犯罪件数は。



地域包括ケ
アによる支えあ
いのまちづくり
を推進している。

保健福祉課長 地域包括ケアによる支えあいのまちづくりを推進している。

問 高齢者福祉計画の推進状況は。

総務課長 まちづくりお出かけトークではH28年からR元年の活動平均が35件、約1200人。コロナ禍でR2年からR4年は減少。

問 生涯学習での団体連携。

教育こども課長 町内外の各種団体、町公民館分館と連携している。コロナ禍で分断した分館の運営ノウハウ

問 地域社会で生涯学習を推進する為の環境づくりは。教育こども課長 町公民館講座を生涯学習参加のきっかけとし、受講後に自主活動への移行を案内している。多種多様な講座で自主的、主体的な学びのきっかけを提供する。

問 計画を十分に理解するため、勉強をする機会が必要になるが。

住民環境課長 各種勉強会への参加や、保護司会と情

問 近隣自治体の状況は。

住民環境課長 県は第2次計画を策定。岡谷市はR3年度に策定。諏訪市はR5年度に策定予定。

問 解しているか。

住民環境課長 重要な計画と理解している。策定している自治体もあるので、町としても早急に進めたい。

問 国では計画の加速化を決定しているが、当町は。

町長 岡谷市、諏訪市の情報を得ながら、早期に準備を行っていく。実効性のある計画であり、当町ならではのものを作っていきたい。

問 子どもの権利文化

ウ再興が課題だが、分館同士の連携、交流もある。

問 子ども・子育てビジョンについての見解は。

町長 世界規模の普遍的な課題として捉えている。

教育こども課長 ①生命、生存、発達②子どもの意見の尊重③最善の利益を持つ④差別のない事を保有。

問 保育園や学校で言えない子どもにどう配慮するか。

教育こども課長 保育士や先生が児童の顔色やしぐさを見ながら一人一人の子どもに寄り添った対応をしている。

教育長 学校側・保護者・

問 部活動の地域移行は。

教育こども課長 5月に準備会を開催し検討。R7年度までに移行の準備。

問 学校の働き方改革

報共有をして連携している。

問 財政支援は。

町長 必要があれば検討する。

生涯学習・諏訪湖の過去、現在、未来



生涯学習・諏訪湖の過去、現在、未来



部活動の地域移行へ

全議員が“思い”を語る！

アンケート結果を公表します



R 5年7月20日(木曜日)午後7時から、文化センターで「しもすわ議員全員お話し会」を開催しました。このお話し会は、無投票で選出された各議員が町民に対して自身の施策や思いを伝える機会を持ちたいとの思いで開きました。開かれた議会を目指し、今後も定期的を開催したいとも思っています。

当日、アンケートを実施させていただきました。参加者数は70名以上で、そのうち54名の方がアンケートに回答して下さいました。開催の様子は、YouTubeで配信していますので、あわせてご覧ください。

また、皆様の声を聴く機会として、**11月18日(土曜日)**には「**議会懇談会**」を下諏訪町役場4F講堂にて開催予定です。お越しいただければ幸いです。

動画配信は
こちらから



アンケート集計

日時：令和5年7月20日(木)午後7時～ 参加者：70人(議員除く) 回答者：54人 回収率：77%

1. 年齢

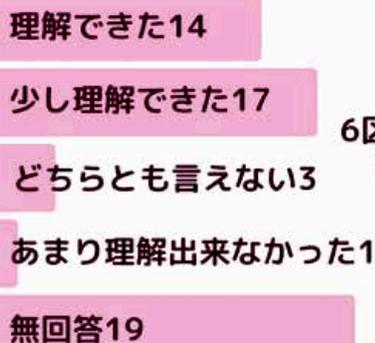
30代 40代 50代 60代 70代



2. 性別



4. 各議員の政策思いなどについての理解



単位：(人)

5. 今後の議会報告会で取り上げてもらいたいこと (複数回答可)



【取り上げてもらいたいその他の内容】

- 町民の声を受け止めるための具体的な行動や考え。
- ごみ問題に関する議論や対策について。
- 国際情勢に対する議員の見解。
- 町との討議内容や、議会が町の課題にどのように対応しているか。
- 議会が取り組んでいることや解決の進捗について。

しもすわ議員全員お話し会



6. お話し会の感想、議会や町政についての意見、要望

1. 外国の皆さんを多く招き入れ、経済効果に期待したい。
2. 定期的な開催を望みます。
3. 政策発表の機会がもう少し欲しいです。
4. 目標が少し不明確な方がいたことがちょっと残念ですが、皆さんへ感謝。
5. 議員定数の削減について提案があり、新しい議員の情熱を感じた。
6. 議員と市民が情報交換できる交流の機会がほしい。
7. 次回の議会に関心を寄せている。
8. 町づくりにはさまざまな世代の協力が必要で、意見を交換し合いたい。
9. 質問の機会をもう少し増やしてほしい。新人議員に期待しています。
10. 双方向の意見交換会を計画し、議員と市民とのコミュニケーションを大切にしたい。
11. 政策をもっと理解し、町の生活を守って欲しい。
12. 質問時間を増やしてほしい。
13. 議員の顔をもっと知る機会が欲しい。
14. 議員定数削減についての要望。町政に期待します。
15. 町民の願いが叶うよう、議員との対話を大切にしたい。

皆様の笑顔のために働きます！

議長 樽川 信仁

「しもすわ議員全員お話し会」では議員全員が“思い”を話させていただきました。5分間では語りつくせませんが、議員の熱い思いは伝わったと思っています。参加していただいた皆様には心より感謝申し上げます。下諏訪町議会では、毎年「議会報告会」を開催し、皆様の要望や考えを聞く機会を持っていますが、コロナ禍にあっては開催が難しく、残念な思いをしました。今年に入り、コロナ感染症が5類となり、皆様とお会いできる機会が増えました。是非これからは気軽に議員にお声がけいただき、ご指導いただければと思います。

9月10日下諏訪レガッタが開催され、議会チームは2艇出艇させていただきました。下諏訪町のより良い発展を求めて、ボートを漕ぐように議員全員力を合わせて頑張ります。皆様のご期待に応えられるように精一杯やる所存です。どんどんご要望をして下さい。皆様の笑顔のために働きます！

「自然と共存する健やかな暮らし」



ヨガインストラクターをやっていますが、下諏訪の魅力を仕事に取り込むことができて大満足です。この夏、諏訪湖畔で早朝ヨガを始めましたが、自然の中で朝の澄んだ空気を吸って、自分も自然の一部に溶け込んでいる感覚に幸せを感じています。ヨガ後はモーニングを楽しみますが、自然の中で山と鳥と諏訪湖を眺めながら、ロケーションの良さをしみじみと感じています。

諏訪湖がある、諏訪大社がある、温泉がある、お水が美味しい、山がある等々、地元の方にとっては当たり前のものであっても、他地域の人のにとっては決してそうではないですから、この環境を大事にした町作りを行って欲しいと思います。

今回知っている人の何人かが議員になったので、自分の中で議会がとも身近になりました。初めて議会を傍聴して、いろいろと考えさせられました。残念なのは、傍聴だけだと聞くだけでこちらの思いを伝えられないので、どの議員ともお話ができるような機会があると良いと思います。

十区在住 石垣 麻衣子（インタビューア―豊島）

編集後記

議会だよりをご覧頂きありがとうございました。一人でも多くの方にご覧頂けるように『見やすく』『親しみやすい』議会だよりの作成を目指していきます。この議会だよりがきっかけで、お知り合いの方などと議会の話をして頂き、少しでも興味を持って頂ければと思います。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

新人 こーちゃん

広報特別委員会

委員長 林 元夫

副委員長 竹元完奈

委員 高橋幸一

委員 大橋和子

委員 豊島健之

委員 野沢弘子

これからの議会だよりについての

WEBアンケートご協力をお願い

スマホ・タブレット・PC等から下記アンケート回答先にアクセスし、アンケートにお答えください。

アンケート回答先



<https://forms.gle/iFU6f9tnbCYCU56q7>

左記QRコードを読み取るか、URLを入力しアクセスしてください。

みなさまのご意見をお聞かせください 😊 😞

ご回答受付期間

10/27 (金)

～

11/20 (月)

